

## 【第1部】教師海外研修概要

### 1-1 教師海外研修の趣旨

本研修は、国際協力に関心があり、授業やクラブ活動などで開発教育や国際理解教育を実践している小学校・中学校・高等学校の教師及び教育委員会の指導主事を対象に、開発途上国で国際協力の現場や現地の生活実態を視察し、今後の授業に役立てる機会を提供することを目的とした研修プログラムです。

### 兵庫県からの研修参加実績

| 年度   | 参加者数 | 研修国：参加者内訳（人数）                                       |            |           |
|------|------|---|------------|-----------|
| 1996 | 2    | タンザニア：高校（2）   |            |           |
| 1997 | 3    | ジンバブエ：中学校（1）  | ベトナム：高校（2） |           |
| 1998 | 4    | バングラデシュ：中学校（2）                                      | メキシコ：高校（2） |           |
| 1999 | 0    |   |            |           |
| 2000 | 3    | モンゴル：中学校（2）   | ケニア：高校（1）  |           |
| 2001 | 4    | ラオス：中学校（2）  | ヨルダン：高校（2） |           |
| 2002 | 2    | ドミニカ共和国：中学校（2）                                      |            |           |
| 2003 | 6    | ベトナム：小学校（2）   | ラオス：中学校（2） | ケニア：高校（2） |
| 2004 | 6    | フィリピン：小学校（2） / 高校（2）                                | ラオス：中学校（2） |           |
| 2005 | 6    | タイ：小学校（2） / 中学校（2） / 高校（1） / 教育委員会（1）               |            |           |
| 2006 | 8    | スリランカ：小学校（2） / 中学校（1） / 高校（3） / 教育委員会（2）            |            |           |
| 2007 | 8    | インドネシア：小学校（4） / 中学校（1） / 高校（2） / 教育委員会（1）           |            |           |
| 2008 | 7    | インドネシア：小学校（3） / 中学校（3） / 高校（1）                      |            |           |
| 2009 | 8    | ベトナム：小学校（1） / 中学校（2） / 高校（3） / 特別支援学級（1） / 教育委員会（1） |            |           |
| 2010 | 8    | 中華人民共和国：小学校（3） / 中学校（1） / 高校（3） / 教育委員会（1）          |            |           |
| 2011 | 7    | サモア：小学校（2） / 中学校（4） / 高校（1）                         |            |           |

※小学校については、2002年度から開始（2002年度は、兵庫県からの参加者なし。）

### 1-2 教師海外研修の目的

- ① JICA 事業の視察や JICA ボランティア（青年海外協力隊・シニア海外ボランティア）・専門家などとの意見交換を行い、ODA（政府開発援助）による国際協力事業に対する理解を深め、日本とサモアとのつながりを知る。
- ② 現地の学校視察及び教員・ボランティアとの意見交換を実施し、サモアの教育事情を理解する。
- ③ 現地の人々との交流を通じて、サモアの生活・文化・社会事情を理解する。
- ④ 帰国後の授業実践に活用できる教材や物品を収集する。
- ⑤ 一連の研修を通じて感じたことや体験したことを基に、授業実践計画を作成し、各所属校で開発教育・国際理解教育の授業を実践する。
- ⑥ 本研修終了後も、開発教育・国際理解教育を継続して実施し、各所属校及び地域の教員に対して開発教育の普及を推進する。

### 1-3 2011 年度教師海外研修の日程

| 2011年           |          |          |         |         |          |      |        |           |         |
|-----------------|----------|----------|---------|---------|----------|------|--------|-----------|---------|
| 4月              | 5月       | 6月       |         | 7月      | 8月       |      | 9月～12月 | 1月        | 2月      |
| 4/1             | 5/下旬     | 6/下旬     | 6/19    | 7/9～10  | 7/25～8/4 | 8/25 |        | 1/6       | 2/19    |
| 募集開始            | 書類選考結果通知 | 面接選考結果通知 | 第1回事前研修 | 第2回事前研修 | 海外研修     | 事後研修 | 授業実践   | 授業実践報告書提出 | 授業実践報告会 |
| <b>募集期間</b>     |          |          |         |         |          |      |        |           |         |
| <b>4/1～5/16</b> |          |          |         |         |          |      |        |           |         |

### 1-4 2011 年度海外研修の概要

#### 派遣国概要

国名：サモア独立国

首都：アピア

面積：2,840 平方キロメートル（鳥取県よりやや小さい）

人口：179,000 人

民族：サモア人（ポリネシア系）90%

その他（欧州系混血、メラネシア系、中国系、欧州系など）

言語：サモア語、英語（共に公用語）

宗教：100%キリスト教（カトリック、メソジスト、モルモン教など）

通貨：タラ（WST）

GNI：5.1 億米ドル（2009 年世界銀行）

1 人当たりの GNI：2,840 米ドル（2009 年世界銀行）

政体：立憲君主制

外交：ニュージーランド及び豪州との緊密な関係維持、南太平洋地域諸国との協力関係を重視、国連活動への貢献。

主要産業：農業、沿岸漁業

主要貿易品目：

- ① 輸出：魚介類、ノニ製品、ビール、ココナッツクリーム
- ② 輸入：食料品・食肉、機械・輸送機器、製造製品



## (1) 海外研修日程表

| 順  | 月 日   | 曜日 | 日程  | 宿泊地  |
|----|-------|----|---|------|
| 1  | 7月25日 | 月  | 関西国際空港出発(7/25)⇒香港到着(7/25)・香港出発(7/25)                                | 機内   |
| 2  | 7月26日 | 火  | ナンディ到着(7/26)・ナンディ出発(7/26)⇒アピア到着(7/25 深夜)                            | ウポル  |
|    |       |    | カバの儀式に参加  |      |
|    |       |    | JICA サモア事務所訪問<br>各自アピア観光及び授業準備                                      |      |
| 3  | 7月27日 | 水  | 学校訪問及び授業実践<br>① Moata'a Primary School<br>② Segaga Secondary School | ウポル  |
|    |       |    | サモアダンス見物  |      |
| 4  | 7月28日 | 木  | 学校訪問及び授業実践<br>① Vaimea Primary School<br>② Lefaga Secondary School  | ウポル  |
| 5  | 7月29日 | 金  | Tafaigata 埋立地(技術プロジェクト)視察   | ウポル  |
|    |       |    | 国立公園視察(技術プロジェクト)視察  |      |
|    |       |    | JICA ボランティアとの懇親会  |      |
| 6  | 7月30日 | 土  | ウポル⇒サバイイ<br>ホームステイ  | サバイイ |
| 7  | 7月31日 | 日  | サバイイ⇒ウポル  | ウポル  |
| 8  | 8月1日  | 月  | Aleipata 津波被災地視察  | ウポル  |
|    |       |    | JICA サモア事務所(報告会)  |      |
|    |       |    | アピアを出発(深夜)  |      |
| 9  | 8月3日  | 水  | ナンディ到着  | ナンディ |
| 10 | 8月4日  | 木  | ナンディ出発⇒香港⇒関西国際空港  |      |

# サモアで見たこと、 感じたこと

(写真のコメントは、参加者による。)

稲崎

▶日本のイメージを絵にしてもらった。子どもたちの笑顔で私の緊張もほぐれた。



▲野菜マーケットで見つけた調理済みのお惣菜。左から焼きバナナ、焼タロイモ、焼ブレッドフルーツ

稲崎



小倉

▲Sagaga S Sでの教室の一場面。「僕も勉強しに来たよ」という訳ではありません。教室の中に、先生の子どもがお邪魔しています。これが、日常の風景。休み時間は、生徒が遊んであげます。日本の働く母には羨ましい? 光景でしょうか。



小倉

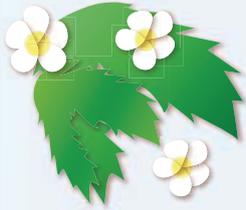
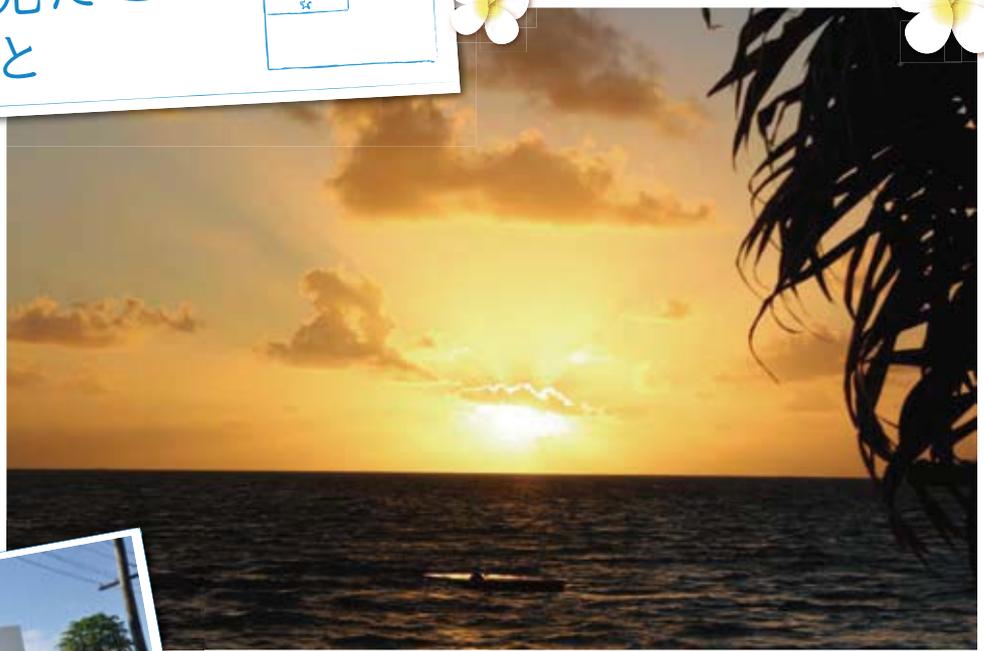
▲サモア伝統のウム料理。真っ赤に焼いた石の上に、ブレッドフルーツ、タロイモなどを並べて蒸焼きにします。堂々と並んでいるのは、さっきまで走り回っていた豚さん。丸ごと蒸焼きにします。塩味ですが、とっても美味しいんです!



▲オーダーメイドのシャツやワンピースなどを仕立てるお店で見つけた日本のミシン。今も現役で働いています。日本の製造メーカーに問合せると40年前のミシンらしい。車をはじめ、日本の中古工業製品は大活躍のようです。

小倉

# サモアで見たこと、 感じたこと



小林

▶ Savaii島の美しい朝日！



西本

◀ 借款に見合う効果があるのか。中国のODA実施現場。日本の存在感が霞むのも気がかり。

小林

▶ 教師の昼食は生徒や保護者が用意する。食事中は、生徒が給仕する。さらには教師をうちわで扇ぐ…。何だか申し訳ない気持ちになりましたが、これはサモアの文化だとおっしゃっていました。



西本

▲ 息子は床に。左の女性は母親だが食卓につかない。主人と客の食事終了後、別の場所で食べる。

▼ 協力隊員の住居。日の丸の寄書と「人生到る処青山あり」「一回くらい本気出せ」の貼り紙。

西本



▲ ウポロ島唯一の火力発電所。あとは5か所に水力発電所がある。電力使用量が毎年増加していて、ときどき停電する。来年に新しい火力発電所がオープンする予定。

壺井



◀ サモアでの防災授業は私にとっては冒険でした。「非常時持ち出し袋」に焦点を絞って授業しました。「もし、あなた達がこのバッグを作るなら何を入れますか？」を問いました。答えは「ココナッツ」「バナナ」！！

瀧口

# サモアで見たこと、 感じたこと



▲こちらはLefaga Secondary Schoolで数学を教  
えておられる青年海外協力隊の向井先生です。算数の  
基礎基本が定着していない中で、優しく、丁寧に教え  
ておられた向井先生の姿、まさに日の丸を背負った先  
生です。

瀧口

瀧口

◀これはMoata'a Primary Schoolで一緒に折り紙を  
折ってきた後の様子です。「カメ」「魚」を折りたい！と  
サモアらしい一面を見た感じです。この笑顔を日本にも  
届けたいです。

▶かごもココナツ  
の葉であつという  
間に編み上げて作  
る。やがて土にかえ  
る…。エコな生活。

藤田



壺井

▲ファレ(壁のない建物)の中での授業。田舎に  
行くと、ファレの中で机もない状況で授業をし  
ている。でも、みんな真剣に授業を受けている。



▲ サモア人はどんなごみも自然に戻ると  
思っているのかも…と疑いたくなる光景。

藤田



◀クリーンステーションは空  
中である。その理由は、マチに  
たくさんいる野犬の存在。

藤田